

目次

一 総括研究報告書	1
三柴 丈典	
二 分担研究報告書	
1 AI の定義論	43
労働安全衛生法政策に向けた AI の位置づけ	
ー歴史的展開と操作的定義の提案ー	
平岡 伸隆	
2 技術的分析	
1) AI メリットを活用し、デメリットを抑制するための技術的、人的要件の特定、その要件を充たした場合にも残るリスク特定	55
藤原 清司	
2) 産業における AI 導入が安全衛生にもたらすメリットとデメリット	87
ーAI 技術事例の分類ー	
平岡 伸隆	
3) AI を用いた産業保健における健康管理ツールの最前線と想定される課題の整理	105
中澤 祥子、榎原 毅、立道 昌幸、深井 航太、古屋 佑子、酒井 洸典	
4) AI の職場導入がもたらす心理社会的影響	135
ー機会と課題に関する学際的レビューー	
島崎 敢	
3 諸外国の AI にかかる安全衛生法政策の動き	
1) 英国 (GB : Great Britain) における AI への安衛法政策の対応	145
三柴 丈典	
2) 労働安全衛生分野における AI の利活用に関するアメリカの現状	167
池添 弘邦	

3) フランスにおける労働・安全衛生と AI をめぐる状況	175
細川 良	
4) ドイツにおける AI への労働安全衛生政策の対応	199
佐々木 達也	
4 人事労務管理・労働法政策一般の動き（国内文献レビュー）	
AI による人事労務管理の変化、非雇用化の進展と安衛法政策上の課題	209
三柴 丈典	
5 社会調査の結果	
1) 当初の質的調査の結果	
インタビューのお願い	249
インタビューの結果	
大林組	251
鹿島建設	255
製造業専門商社	257
Workstyle Evolution	263
AI コンサルティング企業	265
2) その後の量的調査の結果	269
「企業等の AI 利用状況に関する調査」分析結果報告	
西本 実苗、三柴 丈典ほか	
三 代表的な成果物	
オンライン国際カンファレンスの記録	377
EU-OSHA、HSE（英国）、Bau-BG（ドイツ）、厚生労働省、労働安全衛生総合研究所、	
三柴	
三柴 丈典	